

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		自然循環型農業推進事業					
事業の概要		<p>本町の「京とうふ加悦の里」「有機物供給施設」「大豆・米乾燥調製施設」「冷凍米飯加工施設」という一連の施設を活用し、自然循環型農業を推進することで本町の基幹産業の一つである農業を活性化させるため、安心・安全な農産物を提供する環境が整備されている。</p> <p>本事業により、これらの施設を有意義に活用し農家向けの補助事業を充実することで、農業の振興を図るものである。</p>					
		事業期間	平成18年度				
		総事業費	13,122	本年度事業費	13,122	交付金交付額	6,500
事業評価	事業の必要性	<p>本町の「京とうふ加悦の里」「有機物供給施設」「大豆・米乾燥調製施設」「冷凍米飯加工施設」という一連の施設を活用し、自然循環型農業を推進することで本町の基幹産業の一つである農業の活性化させるため、安心・安全な農産物を提供する環境が既に整備されており、今後はこれらの施設をより活用しての農産物のブランド化やその知名度の向上が課題である。</p>					
	事業の有効性	<p>有機肥料を用いた安全な農産物の育成に積極的に取り組むことで、従来からの化学肥料等を大量に用いた効率重視の農業からの脱却を図るものである。</p>					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		<p>自然循環型農業の推進はまだ始まったばかりで町の支援は必要不可欠であるため、現在は肥料購入補助等あらゆる分野で町が支援する内容となっている。しかし、今後は補助内容の修正等も念頭にいれ事業を推進していくことで、農家の自立を支援していくものである。</p>					
3 リーディング・モデル成果							
<p>現在では健康志向が主流となった反面、企業等の食に関する様々な不祥事が明らかになり、食への不安が非常に高まっている。このような世情を背景に安全な農産物が切実に求められており、本事業が消費者に支持されれば当地域における循環型農業のモデルケースとなる。</p>							
4 広域的波及成果							
<p>自然循環型農業を推進することで、農薬、化学肥料の使用を抑制し、環境への負荷を軽減できる。</p>							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。